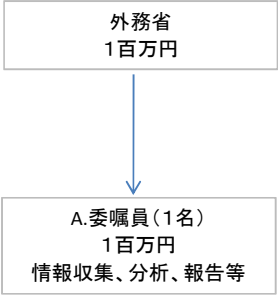


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	南東欧政治経済関連基盤整備	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	中・東欧課	課長 河津 邦彦				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項及び第8項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度)	南東欧地域における日本企業進出のため、必要な政治的・経済的条件の整備やそのための情報収集を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国が大使館や外交プレゼンスを有していない南東欧において、専門家への委嘱を行い政治・経済情報の収集・分析・報告を行わしめる経費(謝金のみ)。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	3	1	1	1	1	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	3	1	1	1	1	
	執行額		1	1	1			
	執行率(%)		33%	86%	86%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	南東欧地域における政治的・経済的条件に関する情報収集。(事業の性質上、定量的成果目標の設定は困難なるも、参考指標として、レポートの提出頻度は週1本(各国政府の夏期休暇時期(6~9月)を除く40週/年)を。)		成果実績	報告本数	41	43	52	40
			達成度	%	102	107	130	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地域の政治・経済・社会の動向に関する報告書の提出。		活動実績 (当初見込み)	契約月数	12 (12)	12 (12)	12 (12)	— (12)
単位当たりコスト	0. 1百万円/月		算出根拠	執行額(1百万円)/月(平成22年度)				
平成23 (単位:千円 予算内訳)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	1,008	958					
	計	1,008	958					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国はマケドニアに実館を有さず、地理的に遠く離れたウィーンから同国を兼轄しており、同国に関する信頼できる情報源が極めて限られている状況にある。一方でマケドニア側は在京大使館の開設を決定するなど対日外交を強化しており、日本政府として情報収集・分析を強化する必要性が生じている。我が国は、平成20年6月以来、マケドニア語及び日本語を解するマケドニア在住の専門家に委嘱を行い、政治・経済情勢に関する情報収集、その国民性に関する知見を活かした分析を行わしめ、毎週報告書を提出せしめている。右報告書は在オーストリア日本大使館がマケドニアの内政・外政、経済の動向を把握し、対マケドニア政策を立案する上で極めて有益なものとなっている。現在までのところ、マケドニアの政治・経済情勢について、我が国との関係まで視野に入れた分析を行うことのできる人物は非常に限られているが、今後、在京大の開設等を通じて同国と我が国との関係の強化につれて人材が増えてくれば、人選の際に競争性を確保することが可能となってくることが期待される。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	委嘱員	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	マケドニアの政治・経済情報の収集・分析と報告	1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					